

科目ナンバリング		U-LAS01 20020 LJ38							
授業科目名 <英訳>	日本史各論（戦国・織豊期の公家と武家） Topics in Japanese History (A Court Noble and a Samurai Family of the Sengoku and Syokuho Periods)				担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 尾下 成敏			
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	歴史・文明(各論)		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）		
開講年度・ 開講期	2026・前期		曜時限	金1		配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】									
歴史学とは、どのような学問であるのかを理解することを目的とし、そのための具体例として、日本の中近世移行期（15世紀半ば～17世紀半ば）の政治史・文化史を学ぶ。今年度は蹴鞠に見る公家と武家の交流を基軸に据え、最新の学界動向を踏まえながら、講義を進める予定である。									
【到達目標】									
日本の中近世移行期（15世紀半ば～17世紀半ば）の政治史・文化史の展開を正確に理解する。									
【授業計画と内容】									
1 イントロダクション、蹴鞠とは？（1）									
2 蹴鞠とは？（2）									
3 日本蹴鞠史概論（1）									
4 日本蹴鞠史概論（2）									
5 日本蹴鞠史概論（3）									
6 日本蹴鞠史概論（4）									
7 日本蹴鞠史概論（5）									
8 16世紀京都の蹴鞠史 公家と武家の交流（1）									
9 16世紀京都の蹴鞠史 公家と武家の交流（2）									
10 16世紀京都の蹴鞠史 公家と武家の交流（3）									
11 16世紀京都の蹴鞠史 公家と武家の交流（4）									
12 16世紀京都の蹴鞠史 公家と武家の交流（5）									
13 16世紀の文化・芸能と蹴鞠									
14 蹴鞠史研究の課題									
< 定期試験 >									
15 フィードバック									
【履修要件】									
特になし									
【成績評価の方法・観点】									
・成績評価は、定期試験（筆記・論述）と平常点（コメントシート提出）をもっておこなう。配点比率は、定期試験80%、平常点20%。									
----- 日本史各論（戦国・織豊期の公家と武家）(2)へ続く -----									

日本史各論（戦国・織豊期の公家と武家）(2)

[教科書]

使用しない

[参考書等]

（参考書）

授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

- ・ 授業前： 1) 高校日本史の教科書や学習参考書のほか、『天皇の歴史』（講談社学術文庫）、末柄豊『戦国時代の天皇』（山川出版社）などを読むことが望ましい。 2) 蹴鞠の動画がyoutubeにアップされているので、是非見てほしい。
- ・ 授業後： ノートを整理し、授業の内容を振り返ることが望ましい。

[その他（オフィスアワー等）]

高校程度の日本史の理解を前提に講義を進めるので、高校で日本史を履修していない者は、教科書もしくは学習参考書の当該部分に、目を通しておくことが望ましい。

[主要授業科目（学部・学科名）]